

## 山形大学校友会専門委員会（第27回）議事録

平成31年 2月 1日（金）  
15時00分 ～ 16時40分  
山形大学法人本部棟役員会議室

### （議題）

- 1 大学院学生表彰者（校友会会長賞）の決定について
- 2 平成30年度校友会支援事業の進捗状況について
- 3 2019年度校友会支援事業の基本方針等について
- 4 その他
  - (1) 「平成30年度（第14回）山形大学OB & OGセミナーの開催について
  - (2) 校友会学生幹事による「山大生活動支援プロジェクトⅡ」活動成果発表会の開催について
  - (3) その他

### （出席者）

委員長： 野村一芳  
委員： 佐藤圓治、大場好弘、竹田隆一、佐藤学、松田友美

### （欠席者）

委員： 齋藤博行

### （列席者）

樋口EM部上席専門員、橋間EM企画課副課長、  
大沼校友会事務局長、黒沼校友会事務局次長

議事に先立ち、委員長から開会の挨拶と出席委員の紹介があった。

### 1 大学院学生表彰者（校友会会長賞）の決定について

委員長から本件の提案があり、大学院学生表彰の推薦状況や被表彰者の決定までの手順等について資料1-1及び参考資料3、4、5に基づき概ね次のような説明があった。

#### （内容）

- (1) 資料1-1は、当該研究科長から推薦された候補者12名に係る主な学術研究活動（顕著な業績）について一覧表としてまとめたものである。
- (2) 大学院学生に係るそれぞれの推薦書の写しは、整理番号1～12のとおりである。
- (3) 「大学院学生表彰に関する申し合わせ」の規定により、被表彰者（校友会会長賞）は本専門委員会の議を経て最終的な決定となる。
- (4) 平成30年度本事業として認められた予算は79万円である。

次いで、推薦された大学院学生の研究業績等が該当する表彰基準の条項等について事務局から説明があった。

なお、委員長から、被推薦者には昨年も「校友会会長賞」を受賞した大学院学生が含まれており、複数回受賞への対応も含めてご意見を伺いたい旨発言があった。

これに対し、概ね次のような意見、要望等があった。

- 同人の業績は平成30年度のもので予算の枠内でもあるため、校友会としては、本制度の運用に関する特別の取り決めがないことから排除する理由もないと考えている。（大場委員）
- なるべく多くの学生を表彰したいというのが本制度の主旨ではないのか。  
(佐藤（圓）委員)

- 優れた業績があれば、毎年表彰しても良いのではないかと。ただし、推薦が予算枠を超えたら何らかの方法を考える必要があると思うが。(竹田委員)
- 目的からすれば表彰は何回でも良いと思う。なお、複数回受賞の基準を別途作ればとも思うが、いろんな分野があるのでなかなか難しいかもしれない。(松田委員)
- 残念ながら、人文・教育系の研究科からは今回も推薦されていない。(事務局)
- 文系の場合このレベルはかなり高いと思われるが、推薦を促す何か良いアイデアがないかを検討してみたい。(竹田委員)

種々審議の結果、委員長から、候補者 12 名は表彰基準のいずれかに該当していると認められ、全員を大学院学生表彰受賞者として決定したい旨提案があり、承認された。

なお、今後のこともあるので複数回受賞への対応については、①優秀なら何回でも可。②大学院の前期課程と後期課程で 1 回ずつなら可。③推薦者数が定員(予算枠)を超えそうな場合には何らかに対応する。の三点と、文系大学院からの推薦がない現状等について校友会理事会に報告し意見を聞いてみることとなった。

なお、事務局から、表彰は「校友会長賞」として資料 1-2 の表彰状と奨励記念品(金 5 万円)を贈呈することとし、表彰状授与式を 2 月 15 日開催の校友会理事会終了後に執り行う旨説明があり、了承された。

## 2 平成 30 年度校友会支援事業の進捗状況について

委員長から本件について提案があり、事務局から、「平成 30 年度実施事業進捗状況一覧」、「事業実施報告書及び事業進捗状況報告書(番号 1 ~ 27)」、「平成 30 年度収支決算見込み」について資料 2 及び資料 3 に基づき概ね次のような説明があった。

(内容)

- (1) 平成 30 年度事業は継続 19 件及び新規 8 件の計 27 件で、予備費を含め事業費総予算額は 18,000 千円となっていた。
- (2) 資料 2 は各事業の進捗状況を一覧としてまとめたものであるが、現時点ですでに終了した事業が 8 件で継続中の事業が 19 件であった。
- (3) 終了した事業実施報告書(別紙様式 1)には、「事業実施の達成度評価」の自己評価項目も記入されている。
- (4) 平成 30 年度の収支決算見込みは資料 3 のとおりであるが、収入は新規加入者が予定より少なかったこと等により全体で 94 万円の減、支出のうち事業費は、今後の支出見込みを踏まえ 16,216 千円程の決算が見込まれている。

引き続き、事務局から、資料 2 に基づき、継続中及び実施済の計 27 事業の実施状況について及び資料 3 に基づく収支決算見込みについて順次説明があった。

これに対し、概ね次のような意見、要望等があった。

- 「山形美術館を活用した学生の学習支援事業(番号 8)」は、入館料を無料にしているのだから、もっと学生利用者数増に繋がる取り組みができないか。1 年生の基盤教育やアントレプレナー教育の活用も考えられるが。(大場委員)
- もともと山形美術館からの申出を小白川キャンパスに繋いだ経緯がある。最初の頃はジブリの企画展に 1000 人超の入館者がいたと記憶している。校友会としても、改めてさまざまな部署に働きかける必要があると思う。(事務局)

- 必要な単位で学生の興味に繋がれば行くと思うが、医学系や看護学系の学生は2年次以降は難しい。1年の後期に入れ込んではどうか。(松田委員)
- “どうすれば行くか”を「学生幹事」にを訊ねてみてはどうか。  
(佐藤(圓)委員・佐藤(学)委員)
- まずは宣伝が大事であり、基盤教育の最初の段階で教員からアナウンスしてもらってはどうか。(竹田委員)
- 山形美術館の訪問により、海外の美術館にも興味を持つきっかけになるのではないか。(佐藤(圓)委員)
- 「校友会会員となった新生へへの入会記念品の贈呈(番号16)」は、入学式で学生朝食券が多くの書類の中で埋没する、自宅通学で朝食を食べない等の理由でなかなか使ってもらえない現状がある。(事務局)
- スマホアプリでの配信や250円券2枚より50円券複数枚等の工夫ができないだろうか。(松田委員)
- “金券”なら使う可能性があると思われるが、学生朝食券をそのまま継続するか否かも含めて「学生幹事」の意見や要望を聞いてみたい。(事務局)

次いで、委員長から、本件について各事業の進捗状況及び収支決算見込みとして2月15日開催の校友会理事会に報告したい旨提案があり、了承された。

### 3 2019年度校友会支援事業の基本方針等について

委員長から本件について提案があり、事務局から、「2019年度予算概要(イメージ)」、「校友会として支援する2019年度事業の基本方針」及び「2019年度校友会支援事業の申請書様式(案)」について資料4、資料5及び資料6に基づき概ね次のような説明があった。

(内容)

- (1) 平成30年度の決算見込みを踏まえ、2019年度予算概要(イメージ)は資料4のとおりである。なお、2019年度事業費は、前年度と同規模の18,000千円程度を確保することとしたい。
- (2) 2019年度校友会支援事業の検討に当たっては、資料5「校友会として支援する2019年度事業の基本方針」に基づいて対応したい。  
(前年度からの変更点)
  - ・主な取り組みに、「卒業生への応援」を新たに加えた。
  - ・最長5年が経過した継続事業を改めて「新規事業」として申請する場合は、以前よりも深化した内容となることが望ましいとした。
  - ・校友会が主体的に取り組む事業は、別枠として実施するものとし、「継続事業」という考え方を取らないこととした。
- (3) 平成30年度事業27件のうち、資料5(別紙1)記載18件については、その実施状況等を踏まえ2019年度継続事業としての優位性を認めることについて本専門委員会においても確認いただきたい。  
なお、事業に係る採択金額はこれまでの実績等を勘案し決定する。
- (4) 平成30年度末をもって継続事業の期間が終了する4件は、資料5(別紙1)記載(点線囲み枠内)のとおりである。
- (5) 「2019年度山形大学校友会事業計画書」の申請様式は資料6のとおりとし、今回は平成31年3月29日(金)を提出期限としたい。

種々審議の結果、委員長から本件について諮られた結果、次のとおり了承され、関係資料を整理の上、2月15日開催の校友会理事会へ提案することになった。

- イ 校友会支援事業の検討に当たっては、「校友会として支援する 2019 年度事業の基本方針」に基づいて対応する。
- ロ 平成 30 年度において実施した 27 事業のうち、資料 5 別紙 1 に掲げる 18 事業は 2019 年度継続事業としての優位性を認めるが、採択金額はそれぞれの実績等を精査の上、決定する。
- ハ 資料 5(別紙 1) (点線囲み枠内) の 4 事業については、平成 30 年度末をもって最長 5 年間の「継続事業」期間を終了する。
- ニ 「2019 年度校友会事業計画書」は、平成 31 年 3 月 29 日 (金) を提出期限として広く募集する。

～ 2019 年度の継続事業としての優位性を認める 18 事業 ～

(修学・グローバル化支援関係)

- 1 新興国学生大使派遣プログラム (5 年目)
- 2 山形美術館を活用した学生の学習支援事業 (4 年目)
- 3 大学間交流協定大学への短期派遣留学生校友会支援事業 (2 年目)
- 4 博士課程学生研究発表奨励事業 (2 年目)
- 5 学生による地域の課題解決支援プログラム (2 年目)

(課外活動支援関係)

- 1 科学で東北盛り上げ隊 (5 年目)
- 2 子どものまち・いしのまき復興支援事業 (4 年目)
- 3 ビーチサッカー大会 in 庄内 (3 年目)
- 4 各キャンパス大学祭への支援 (2 年目)
- 5 公認サークルへの支援 (2 年目)
- 6 山形大学駅伝大会への支援 (2 年目)

(就職やキャリア支援関係)

- 1 学生中心に行う優良企業訪問への支援 (5 年目)
- 2 本学 OB・OG から学ぶ業界・仕事研究セミナー (4 年目)
- 3 障がい学生に特化したキャリア支援 (3 年目)
- 4 地域の未来を担う公務員志望学生に特化した早期自己開発キャリア支援 (2 年目)
- 5 学生によるキャリア cafe の運営 (2 年目)

(保護者、本学運営等関係)

- 1 山大学生による山形大学のための情報発信プロジェクト (3 年目)
- 2 オペラの教育機能を活用した《附属校との協働》及び《高大連携事業》の推進 (3 年目)

◎校友会が主体的に取り組む事業 (2019 年度より別枠として実施)

- (1) 卒業生の「人財バンク登録事業」を活用した学生支援事業
- (2) 校友会会員となった新入生への入会記念品の贈呈
- (3) 若手卒業生の組織化支援
- (4) 卒業生と大学・学生との連携推進事業 (卒業生等による学生支援体制の整備)
- (5) 校友会「学生幹事」による校友会 P R と自主的な活動支援

○平成 30 年度末をもって継続事業期間が終了したもの

- 1 実践教育プログラム英語合宿 (5 年間継続)
- 2 校友会推薦図書コーナー「後輩には是非、こんな本を読ませたい！」(5 年間継続)
- 3 山形大学・米沢栄養大学・米沢女子短期大学雪合戦大会支援 (5 年間継続)
- 4 山形大学校友会大学院学生表彰制度 (5 年間継続)

#### 4 その他

委員長から次の2項目を報告したい旨発言があり、事務局から説明があった。

##### (1) 「平成30年度（第14回）山形大学OB&OGセミナーの開催について

本件について事務局から概ね次のような説明があり、次回の校友会理事会に報告することとした。

- ① 来る3月9日(土)に開催する今年度のOB & OGセミナーは、資料7のとおり詳細内容が決定し、すでに参加者の募集を開始した。
- ② 今年も東京JR田町駅近くにある「グランパーク（募集150人）」を会場に実施する。
- ③ 講演の講師は、大学院教育実践研究科担当の出口毅先生と大学院理工学研究科担当の野々村美宗先生をお願いしている。

なお、本件については、各学部同窓会等のホームページなども活用し広くPRに努めてほしいとの要望が述べられた。

##### (2) 校友会学生幹事による「山大生活動支援プロジェクトⅡ」活動成果報告会の開催について

本件について事務局から概ね次のような説明があり、次回の校友会理事会に報告することとした。

- ① 来る2月28日(木)に開催する「活動成果発表会」は、資料8のとおり詳細内容が決定し、すでに参加者の募集を開始した。
- ② 今回は2回目の開催で、支援を受けているIVY youth、劇団スピリッツ、Team道草及び山形大学SCITAセンター学生スタッフの4つの団体に発表をお願いしている。

##### (3) その他

事務局から、今年度末で校友会理事の任期満了に伴う取り扱い等について次のとおり報告があった。

- ① 今年度末で校友会理事は2年の任期が満了となるが、校友会理事及び同専門委員会委員のこれまでの支援と協力に対して謝意が述べられた。
- ② これまでの慣例に倣い、次期の校友会理事が選出され専門委員会が組織される理事会までの間、野村委員長はじめ現専門委員会委員には、引き続き専門委員会の業務をお願いしたい。

したがって、5月下旬に開催される専門委員会については現委員での審議をお願いしたい。

- ③ 校友会事務局担当者の交代は以下のとおりである。
  - ・大沼事務局長並びに黒沼事務局次長は、任期満了により退職する。
  - ・後任は、樋口浩朗EM部上席専門員である。

## 配付資料一覧

- 山形大学校友会専門委員会（第27回）次第
- 山形大学校友会専門委員会委員一覧（H31.2.1 現在）

### [資料一覧]

- 資料1-1 山形大学校友会大学院学生表彰推薦者一覧（平成30年度）  
添付資料【大学院学生表彰推薦書（写）（整理番号1から12）】
- 資料1-2 表彰状案（山形大学校友会会長賞）
- 資料2 平成30年度校友会支援事業の進捗状況一覧  
添付資料【平成30年度事業の実施状況及び  
進捗状況報告書（写）（番号1から27）】
- 資料3 2019年度収支決算見込み
- 資料4 2019年度予算概要（イメージ）
- 資料5 校友会として支援する2019年度事業の基本方針
- 資料6 「2019年度校友会支援事業計画書」（申請書様式案）
- 資料7 「平成30年度山形大学OB&OGセミナー」の募集案内
- 資料8 校友会学生幹事による「山大生活動支援プロジェクトII」活動成果発表会の開催案内

### [参考資料]

- 1 山形大学校友会会則
- 2 山形大学校友会専門委員会規程
- 3 山形大学大学院校友会大学院学生表彰に関する申し合わせ
- 4 大学院学生表彰〈校友会会長賞〉の推薦及び選考等に関する資料  
（平成29年6月27日校友会理事会において了承されたもの）
- 5 校友会理事会第25回（H30.6.15）議事録〈抜粋〉
- 6 校友会専門委員会第26回（H30.5.25）議事録
- 7 校友会会報 No.12